

## 【第2回】石狩市総合戦略推進懇話会開催結果概要

平成30年11月9日

【日時】 平成30年10月19日（金）13:15～17:00

【場所】 現地視察：道の駅石狩「あいろーど厚田」、石狩湾新港発電所  
意見交換：石狩市役所2階201会議室

【出席者】 13名（16名中）

| 役職  | 氏名     | 出欠 | 役職 | 氏名     | 出欠 | 役職 | 氏名    | 出欠 |
|-----|--------|----|----|--------|----|----|-------|----|
| 会長  | 角川 幸治  | ○  | 委員 | 柴田 肇   | ○  | 委員 | 浜野 俊介 | ○  |
| 副会長 | 竹口 尊   | ○  | 委員 | 白井 かの子 | ○  | 委員 | 林 美香子 | ○  |
| 委員  | 木村 秀裕  | ○  | 委員 | 鈴木 正人  | ○  | 委員 | 原 俊彦  | ×  |
| 委員  | 河野 明美  | ○  | 委員 | 高梨 朝靖  | ○  | 委員 | 向田 久美 | ○  |
| 委員  | 小林 卓也  | ○  | 委員 | 田原 朋学  | ×  |    |       |    |
| 委員  | 酒井 志津子 | ○  | 委員 | 徳光 康宏  | ×  |    |       |    |

※正副会長を除き、あいうえお順

□オブザーバー 北海道石狩振興局地域創生部地域政策課：原口課長

□事務局 石狩市企画経済部：小鷹部長、本間次長兼企画課長、中館企画担当主査、  
橋本企画担当主任

【傍聴者】 0名（非公開）

- 【次第】
1. 開会
  2. フィールドワーク（市内現地視察）
    - ・道の駅石狩「あいろーど厚田」
    - ・石狩湾新港発電所
  3. 意見交換
  4. その他
  5. 閉会

### =====**内容要旨**=====

#### 1. 開会

#### 2. フィールドワーク（市内現地視察）

- ・道の駅石狩「あいろーど厚田」
- ・石狩湾新港発電所

#### 3. 意見交換

（1）道の駅石狩「あいろーど厚田」について

《イベント》

○石狩から厚田へ向かう海岸線は風光明媚であるため、自転車のロードレースのようなスポーツイベントや、冬場はスキー場を利用した体験型アクティビティを企画してはどうか。

○道の駅周辺にはスキー場やキャンプ場があり、今年の夏に実施したフットパスなどにより、周辺地域にも拡大していけるようなイベントが必要である。

○2年目は、いろいろな体験系のイベント（薪割り体験やサイクリング）を実施し、点と点を線で繋ぐことが大事である。

#### 《スペースの有効活用》

○他の道の駅と比較すると、物販のスペースが小さく、商品も少ない印象があるので、道の駅の前や駐車場を利用して、地元の海産物、農産物、果物等を販売するマルシェ等を開催してはどうか。

○アネックス館や朝市など、周辺に流れる仕組みも必要である。

#### 《冬期間》

○冬期間は国道が通行止めになるケースもあり、休憩場所や災害時の避難所として機能できるように、準備をしていかなければならない。

○冬期間は悪天候に見舞われることも多いため、春に向けた準備をし、産品や物づくりの場所にすると考えてもいいと思う。

#### 《PR》

○夕日が見られる素晴らしいスポットであるため、カメラ愛好家の方などへの情報発信をしてはどうか。

○道の駅2階で、ドローンを使ったプロモーション映像が放映されているが音声が入っていない。せっかく素敵な映像なので、音声を入れて、道の駅だけで放映するのではなく広く周知すると厚田の良さを知ってもらい、足を運んでみようという方も増えるのではないかな。

○リピーターを増やすには、建物だけに依存するのではなく、周辺エリアを活用し、ここに来なければできない・見られないような魅力をPRする必要がある。

○若い世代は、SNSを拡散して宣伝していくなど、素晴らしいアイデアを持っている。そういったアイデアを若い世代から募ったり、SNSを利用したりして、石狩の魅力が発信できたらいいと思う。

○厚田に特化しているという部分もひとつの宣伝になると思うが、浜益の色をもっと出してほしい。

#### 《農作物の販売》

○農家では箱で出荷するため、人手不足の中、袋詰めは大変な手間であり、コストもかかる。また、高齢化などの理由により、供給量を確保することが困難である。

○個々の農家では出荷が難しいため、生産組合などグループ化を図り、運営する仕組みが必要ではないか。

#### 《そのほか》

○地域資源は「食」だけではないので、冬の遊び場など、いろいろな観点から地域資源を掘り起こし、道の駅を核として活用してほしい。

○オール北海道という視点で、オロロンラインを繋げるような地域の連携も必要である。

(2) 石狩湾新港発電所について  
特になし

4. その他

5. 閉会